

農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

 (8) 事業間連携による担い手経営体訪問
JAしもつけ（栃木県）

新規	継続
	○
	(2016年4月)

1 動機 (経緯)	担い手経営体の高度化・多様化する事業ニーズに応えるためには、JAの総合事業体としての強みをフルに発揮していく必要があり、JA内部における事業間連携の強化をすすめていく必要がありました。
2 概要	JA管内全地区の農産物年間販売金額上位農家および各地区営農経済センターにより選定した重点農家（法人含む）を対象とし、訪問活動の実施には各事業管理者と営農部門においては指導員、経済部門においては営農経済渉外、金融部門は金融渉外担当、共済部門ではライフアドバイザー（LA）との同行訪問を実施しました。 訪問活動のなかから相手の現状・計画・課題・ニーズ等をヒアリングし、また視察により、所有設備状況を把握し、情報を個人別カードに記載し、各部門への情報提供を図りました。
3 成果 (効果)	定期的な訪問の結果、各事業における担当者の訪問により意見および要望は多岐にわたり得ることができ、また事業間の職員相互における情報の共有にも繋がることができました。 今後においても得た情報を共有し、各事業において訪問先にたいしてニーズに合致した情報提供をおこなっていくことが期待されます。
4 今後の予定	次年度においても同様の取組みを継続し、今後は経営者層である常勤役員の同行を予定しています。（2019年度実施中） 総合事業体としてのJAのあり方を対象である担い手経営体に周知および理解してもらい、さらなる良質なサービスを提供していく予定です。